

平成 29 年度 学校法人創志学園 事業計画書

(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

【高等教育部門】

1. 環太平洋大学

<事業計画概要>

教育研究目的の達成並びに教育課程の円滑な実施に努めるとともに、さらなる充実を図るためにアカデミックスキルズ等新科目を含めた教養科目の見直しを行う。また、キャリアセンターを中心として、採用試験で役に立つ一般教養及び専門知識を身に付けさせるために、キャリア教育部と各支援室の連携を強化し、正課外の就職対策講座を体系化する等一層の充実を図る。

<主な事業計画>

1. 学部・学科の主な取り組み

(1) 次世代教育学部 こども発達学科

高校での模擬授業等幼児体育コース等の実践的な指導例をアピールして差別化を図るとともに、「体育指導力」「英語指導力」「地域子育て支援の実践力」習得に向けたカリキュラムの教育効果を分析し、指導体制を確立する。また、地域に開く子育て支援事業と高大連携協定事業の定着を図り、地域貢献を目指すとともに、公立保育職希望者の全員合格、私立園希望者は 100%の就職率を目指す。

(2) 次世代教育学部 教育経営学科

国際教育コースの新設、及び 2 年次留学の奨励、1 年次全員の英検（2 級、準 2 級）受験推進、正規授業（英検・TOEIC の対策授業）による英検 2 級取得率の向上により、グローバル化に対応する教員を育成する。また、徹底した実学教育科目（青年教師塾）の充実、公立学校・教育施設と連携した学生ボランティア制度を活用した実践教育を行うとともに、進路別ゼミにおける徹底した学習・就職指導の強化し、教員採用合格者 75 人達成を目指す。

(3) 次世代教育学部 国際教育学科

英語力を高めるため、学生による勉強会を組織し、正課外の TOEIC 対策講座をより強化する。また、外国人留学生のために、レベル別クラスと補習による効果的な日本語向上と専門科目履修に伴う日本語サポート等態勢の充実を図るとともに、留学生による学校支援ボランティアや地元小・中学校との交流、岡山県・赤磐市とのインバウンド・アウトバウンド事業への参加、小学校教員を対象とした英語教育ワークショップの開催等、地域貢献を充実させる。

(4) 次世代教育学部 教育経営学科 [通信教育課程]

入学説明会及び在学生向け履修相談会を行う。出願率の高い説明会を地方及び岡山駅前で開催し、より丁寧な案内で出願増加を図る。また、LINE や UNIBERSAL PASSPORT でのこまめな情報発信や入学オリエンテーションの動画を配信し、在学生がいつでも閲覧できるようにするとともに、全国での入学説明会時に、在学生向けの履修相談会を実施する等、学生サポートを充実させる。

(5) 体育学部 体育学科

スポーツ医科学研究所（仮称）の設備充実による各種分析サポート（心・技・体）等を実施し、選手のパフォーマンス向上（怪我をしない体作り）を目指す。また、入学定員増（100名増）に伴うコース新設（スポーツトレーナコース）及びスポーツ企業との連携を図り、企業が求める人材を育成するカリキュラムの整備と5コースの教育目的や人材養成の目的により適合した「コア科目」に再編する。

(6) 体育学部 健康科学科

柔道整復師養成施設指導要領の改正に伴う本学科カリキュラムの再編成に対応するとともに、全体及び個別保護者会を開催（卒業要件説明会）や特別就職セミナー及び企業訪問や宿泊勉強会等健志会活動を充実させモチベーションの向上を図り、国家試験合格へつなげる。

(7) 経営学部 現代経営学科

第2回ビジネスプランコンテスト・第2回課題体験プロジェクトの推進、学外との連携推進、アントレプレナーシップ人材認定制度導入を行い、起業家人材育成を充実させる。また、自治体、産業界の連携・協働により実践的なテーマに基づく経営講座を運営するとともに、経済界で活躍している客員教授を招いた「企業経営実践論」「ビジネス特別講義」により、実践的な知識を身に付ける。

2. 就職率向上への取り組み

- (1) 「300プロジェクト」（教員100・公務員100・上場企業100）達成に向けた各支援室と各志会活動における指導強化。
- (2) 採用試験合格状況、企業就職内定状況のスピーディーかつ正確な把握と学内への情報提供と適切な就職指導による就職率の増加。
- (3) キャリアセンター内各支援室間及びキャリアセンターと学部、学科の連携強化と情報共有を図る。
- (4) 卒業生の勤務先調査による、就職活動を強化する。（同窓会との連携）

3. 学生支援に関する取組み

- (1) 学習状況、部活動、就職活動等に関する情報を一元的に管理する個人カルテシステムを活用し、指導担当者間で情報共有による、きめ細かな学習指導と生活指導等を行う。併せて、全国の主要都市にて保護者会を開催し、メンター及びゼミ担当教員等から保護者へこれらの情報を提供する。
- (2) 体育会
科学的、心理学的サポート及び栄養サポート等を含めた「チームIPUサポートシステム」を導入することにより、更なる競技力向上のための環境整備を図る。また、男子バスケットボールの創設による学生獲得の増加を図る。さらに、指導者に対する部員数の適正化と面談時間及び情報入時間の確保等学生指導の充実を図る。
- (3) 学友会
学友会の年間行事を見直し、より多くの学生が参加できるインカレ等の体育会主要大会への応援ツアーの増加、体育会以外の各サークル活動への助成の充実等を図る。また、学生により直接的に効果が及ぶ新たな事業展開も含めた、効率的、効果的な予算執行計画を作成する。

4. 募集戦略

- (1) 出願目標数の設定とエリア担当管理を行い、担当エリアだけでなくチームとしての意識を定着させる。
- (2) スポーツリクルートの把握と進捗管理を適切に行う。(体育会指導者によるアクセスオンラインへの最新情報を入力できるようにする。)
- (3) ホームページや広告物をよりタイムリーに発信する。
- (4) オープンキャンパスでの学生主体でかつ各学科の魅力がより伝えられるようなプログラムにする。また、地方説明会への学科教員参加による参加者の理解度と満足度を高める。
- (5) 高校訪問・高校ガイダンス・会場ガイダンス等で1社業者を増やし、高校生との直接接触の機会を増やし、学生獲得につなげる。

5. 施設設備等の整備計画

- (1) 管理棟、教学棟の教室、研究室、共有部分の整備計画の推進と、既存学生寮の修繕・改修・整備と改善(収益改善、寮食改善等)、空調設備の入替え実施により教育環境を充実させる。
- (2) 和気町との連携による小学校等の活用・改修(石生小学校と総合グラウンドの利用等)を図り、クラブの充実と実践教育場所の充実を図る。
- (3) 実習実学教育施設としてディスカバリーの建設を計画する。

6. 研究に関する取り組み

- (1) 学術研究支援委員会を中心に、学内外のサポート体制を一層充実させ、申請に向けたノウハウを確立し、申請数、採択率、交付額において過去最高を目指す。
- (2) 紀要の質的、量的向上を一層図り、年2回の発行を目指し、学内全体の研究の充実を図る。

7. 評価及び業務の合理化等に関する取り組み

- (1) 学術研究支援委員会を中心に、学内外のサポート体制を一層充実させ、申請に向けたノウハウを確立し、申請数、採択率、交付額において過去最高を目指す。
- (2) 紀要の質的、量的向上を一層図り、年2回の発行を目指し、学内全体の研究の充実を図る。

2. 東京経営短期大学

<事業計画概要>

学生一人ひとりに対し、更にきめ細かな指導とサポートをするため、現状のゼミ担任に加え、副担任を置き、新たな支援制度や仕組みづくりに着手する。また、就職率 100%、及び「村田塾」による日商簿記 2 級合格者の 20%増を目指すとともに、「キャリア塾」において新たに「行政書士合格ゼミ」「公務員試験対策ゼミ」「四大編入ゼミ」を開講し、特色ある進路開拓に挑戦する。また、留学生別科「グローバルスタディセンター」を活用し、幅広い国から留学生受け入れることで、国際色を打ち出していく。

<主な事業計画>

1. 経営総合学科

平成 30 年度に向けて現行の 5 コースを 3 コースに集約し、「ビジネス・スタンダード科目（仮称）」及びユニット制を導入する。また、ビジネスの基礎知識を固めることを目的に「ビジネス・スタンダード科目（仮称）」を必修科目とし、授業科目の合理化を図る。加えて、幅広い分野への就職を可能とするため、推奨資格として日商簿記（全経簿記）、TOEIC、MOS、ホテルビジネス実務検定等を位置付け、資格取得対策ゼミの開講も見直し、地元の金融機関をはじめ、上場企業や知名度の高い企業やホテル等を含む幅広い分野への就職を目指す。

2. こども教育学科

「あきらめず、あせらず、一歩ずつ」を合言葉に、学生一人一人に対し「One to One 指導」を徹底する。また、公立幼保採用試験対策ゼミを開設するとともに、近隣の幼児保育施設との連携により、生活発表会等の行事参加機会の開拓、クリスマス会等の時節行事を市川市との共催開催等による地域連携を図る。

3. きめ細かな学生指導の徹底

専任教員に対する「学習心理支援カウンセラー」資格の取得を制度化するとともに、ゼミ担当教員を中心とした全学的な学生指導を徹底する。

3. 学生募集

- (1) 在学生の近況報告、幼保教育の出張授業等により認知度を高めるとともに、学校説明会、オープンキャンパスの内容の見直し、及び参加者の特典制度を検討する。
- (2) 地元での知名度アップと社会人募集に関する取り組みとして、エクステンションセンターによる公開講座を企画・開講する。

4. 進路支援の強化

- (1) 進路決定率 100%を達成するために、前述の「キャリア塾」と「キャリアセンター」に加えて、ゼミ担当教員が連携して早期決定者を増やす。
- (2) 進路の「数、率、質」にこだわり、求人件数（官民両側の開拓）や推薦編入できる 4 年制大学数を増やす。また、県内の金融機関や大企業を中心に求人開拓を強化し、「就職といえば東京経営」を目指すため、大手町キャリアセンターを活用し、企業の人事担当を対象とした「人事労務セミナー」等の企画・運営を継続する。

3. 環太平洋大学短期大学部

<事業計画概要>

基礎体力の向上、心の回復力向上、保育の実践力強化を目指して、基礎教養科目の「体育」を通じたフィジカル強化プログラムや、臨床心理士資格を有する教員を中心としたレジリエンス強化プログラムを実践し、附属幼稚園及び元気の泉保育園と連携したヨコミネ式教育法の研究推進を行う。また、発育発達の研究成果を附属幼稚園等と共有し、学生の実践力向上に努め、新たなヨコミネ式教育プログラム（アイタンプログラム）の開発を推進する。

<主な事業計画>

1. メンター制度の見直し及び初年度教育の再構築

「総合ゼミナール」の担当教員をメンターに置き換え、初年度教育に充てることにより、建学の精神、教育理念の浸透を図るとともに、基礎学力の向上を目指す。

2. 体育会強化指定4クラブの競技力向上

『スポーツのアイタン』を全国にアピールすべく、体育会強化クラブ(ソフトボール・ハンドボール・サッカー・剣道)において、最低限全日本インカレ出場、及び1、2回戦突破を目標とする。また、「えひめ国体」において、サッカーは優勝、ハンドボールはベスト8進出を目指す。

3. 宇和島市からの学生募集を強化する

宇和島市が本学学生に対する給付型奨学金(500万円)(H29年度予算計上予定)を有効活用し、公立化を背景に、宇和島市内からの入学者を増やす。

4. 幼保短連携のさらなる推進活発化

ヨコミネ園での保育実習に附属幼稚園・元気の泉保育園の保育者帯同・現地で研修を実施する。成果の現場還元によるヨコミネ式教育法実践強化、保育法の差別化を図り、より一層の園児の獲得に繋げる。

5. IPUとの連携強化

授業改革研究(アクティブラーニング・ヤングアメリカンズ)や体育会活動を通じたIPUとの連携継続に加え、IPU保育学生の宇和島での保育・教育実習を実施する。

【その他の設置校】

4. 環太平洋大学短期大学部附属幼稚園

ヨコミネ式教育法を基盤に「心の力」「学ぶ力」「体の力」を育てるとともに、また身につけた「体操」「合奏」の技術や身体表現を含めた総合表現活動の発表の場を設け、園の取組を広く地域に PR し、園児の新規獲得へつなげる。また、ヨコミネ式教育法を基盤にした園独自の自己表現力を養成する幼児教育プログラムを構築する。

5. クラーク記念国際高等学校

文部科学省の「高等学校通信教育の質の確保・向上のためのガイドライン」に沿った学校運営の強化を行うとともに、大学進学率・質の向上、及び1対1対応の再考と強化、社会的評価の向上を教育方針として、タブレットPC活用によるICT教育の推進、新大学入試制度を見据えた人間力養成を目的とした「キャリア教育」の導入、ハワイ州の現地校と連携した上級者向け語学研修等を実施する。また「教育のクラーク」としてのブランドイメージアップとして、YOUTUBE等の動画活用によるブランディング強化、ホームページのデザイン強化、マーケティングオートメーションソフトの導入による戦略的アプローチ広報の実施等を行う。

6. 専修学校 クラーク高等学院天王寺校

教育活動の充実、進路指導の強化、生徒指導の強化を教育活動の柱として、進路先で活躍する力を養成するために、生徒の学習意欲を高め、目標進路決定に役立つ知識・資格を修得させる。また、教員のICTを活用した指導力の向上を図るとともに、進路別選択授業の実施によりきめ細かな進路指導を実施する。

7. 専修学校 クラーク高等学院大阪梅田校

大学進学率と質の向上を目指して、1年次から進路意識を向上させるために「キャリア学習」の実施、及び進路指導体制の構築を行う。また、タブレットPC導入によるICT教育を展開するとともに、国語科・英語科における教科指導体制の強化を図る。さらに、「大阪1,100名在籍」の達成を目標として、天王寺校との広報活動の連携を強化する。

8. 専修学校 クラーク高等学院名古屋校

大学進学クラスと特進クラスを統合した3段階の大学進学クラス編成とし、定期テスト等でより上位クラスへ上がる仕組みを設けることにより、学習へのモチベーション向上を図る。また、インターナショナルクラスにおいては、オンライン教材を導入し、日常の学習習慣の定着と会話トレーニング強化を図ることにより、TOEICのスコアアップにつなげる。さらに、ICT教育推進リーダーを配置し、授業だけでなく、生徒支援、目標達成等様々な観点でICTを活用した教育サービスの提供を行う。

9. 創志学園高等学校

生活習慣の自律と学習習慣の自立を図るとともに、全科において生徒一人ひとりの夢実現に向け、教育活動の充実を目指すことを教育方針として、創学ゼミとの連携強化による学習システムの導入及び映像による個別指導強化等により岡山大学を含めた国公立大学及び関関同立以上の私立大学への合格実績数を伸ばす（目標 20 名）。また、海外での短期留学を推進し、生徒に生きた英語力とグローバルな感覚を身につけさせる。

10. 専門学校 東京国際ビジネスカレッジ

21 か国出身の学生がともに学ぶ国際色豊かな環境をフル活用し、ホスピタリティ教育、英語教育、協調性等を身につけさせ、希望する進路へ導けるカリキュラム展開を行う。また、留学生においては、各種日本語テスト対策だけでなく、即戦力として活用できる日本語要請を目標として日本語教育向上を目指す。

11. 専門学校 東京国際ビジネスカレッジ 福岡校

専門課程においては、需要の高まりが期待される「経営」や「会計」等のビジネス系科目、外国語、資格検定対策科目を増強し、学生一人ひとりの希望進路達成に直結する教育を実践する。また、学科・コース間の特色をより鮮明にするため、コースごとの特別講義や課外活動を実施する。高等課程においては、総合進学コースを中心として学力向上を図るとともに、1 年次からキャリア教育を導入し、計画的な進路指導を行う。また、アセス調査の定期的導入と生徒カルテシステムの運用で生徒の変化に即応した指導体制を構築する。

12. 日本健康医療専門学校

「卒業後に責任を持つ教育の実践」を教育目標として掲げ、鍼灸・柔道整復学科は学年生単位制導入等により国家試験の合格率 100% の達成及び臨床実習の充実を、ライフケア学科は資格取得数の向上及びビジネスマナー指導の徹底により就職率 100% の維持を、ライフデザイン学科は学内模試及び実力試験の月 1 回実施等による競争環境の構築等により難関大学への合格実績だけでなく非漢字圏学生の日東駒専以上の大学合格実績の向上を目指す。